

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第5区分
【発行日】令和7年6月3日(2025.6.3)

【国際公開番号】WO2024/180622
【出願番号】特願2025-503255(P2025-503255)

【国際特許分類】
B 6 2 D 25/08(2006.01)
B 6 0 R 16/04(2006.01)
F 0 2 M 37/22(2019.01)

10

【FI】
B 6 2 D 25/08 E
B 6 0 R 16/04 D
F 0 2 M 37/22

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月21日(2025.3.21)

【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

20

【請求項1】

車両のフェンダーパネルの内側に設けられ、車載装置が収容される収容室における底面の一部をなすフェンダーシールドを備える車体構造であって、

前記フェンダーシールドは、

前方側に向かって下り勾配の面状に形成され、第一車載装置が配置される第一面部と、

前記第一面部の後方側において車幅方向に延在する平坦な帯状に形成されてなる第二面部と、

30

前記第二面部の後方側において板面を板厚方向に膨出させてなる壁部を含む稜線部と、

前記第二面部の後方側かつ前記稜線部の略側方側において第二車載装置が配置される第三面部とを備える

ことを特徴とする、車体構造。

【請求項2】

前記第一面部が、板面を板厚方向に膨出させた部分を車両前後方向に延設してなるビードを有する

ことを特徴とする、請求項1記載の車体構造。

【請求項3】

前記稜線部は、前記第二面部の後方側に向かって上り勾配の面状をなし、車幅方向に沿って延びる第一縦壁部を有する

40

ことを特徴とする、請求項1記載の車体構造。

【請求項4】

前記稜線部は、前記第一縦壁部の車幅方向内側の端部から後方側に向かって延び、車幅方向外側に向かって上り勾配の面状に形成される第二縦壁部を有する

ことを特徴とする、請求項3記載の車体構造。

【請求項5】

前記第三面部は、前記第二車載装置を固定する箇所の周囲を板厚方向に膨出させてなる第一補強部を有する

ことを特徴とする、請求項1記載の車体構造。

50

【請求項 6】

前記第三面部は、前記第二車載装置を固定する箇所の周囲を板厚方向に膨出させてなる第一補強部を有し、

前記第一補強部は、前記第二縦壁部の側方に位置することを特徴とする、請求項 4 記載の車体構造。

【請求項 7】

前記フェンダーシールドは、

前記第一縦壁部と前記第二縦壁部とで形成されて頂部が平面状を呈し、上方に膨出した形状に形成される第二補強部を備え、

当該第二補強部にストラットタワーが配置されることを特徴とする、請求項 4 記載の車体構造。

10

【請求項 8】

前記第一面部に対して水平に取り付けられるトレイ部材を備え、

前記第一車載装置が、前記トレイ部材を介して前記第一面部に固定され、

前記トレイ部材が、板面を板厚方向に膨出させた部分を車両前後方向に延設してなるトレイビードを有する

ことを特徴とする、請求項 1～7 の何れか一項に記載の車体構造。

【請求項 9】

前記車両が、ボンネットフードの左右両端辺を支持する左右一対のアップパーフレームと各々の前記アップパーフレームの前端部から車両内側かつ前下方に向かって延びてフロントサポートメンバーに接続される左右一対のフロントサブフレームとを具備し、

20

前記第一面部の前端部が、前記フロントサブフレームに接合され、

前記第三面部の側端部が、前記アップパーフレームに接合される

ことを特徴とする、請求項 1 記載の車体構造。

【請求項 10】

前記車両が、ハット型断面形状を有して車幅方向に延在するとともに左右一対の前記フロントサポートメンバーを車幅方向に接続するファーストクロスメンバーを具備し、

前記第一面部の前端部の高さ方向の位置が、前記ファーストクロスメンバーと同じ高さに設定される

ことを特徴とする、請求項 9 記載の車体構造。

30

40

50